

30P1-am321

Penitrem類の合成研究

○高須 清誠¹, 細川 法彦¹, 徳山 英利¹(¹東北大院薬)

【目的】 Penitrem 類は *Penicillium cyclopium* などの糸状菌から単離され、中枢性の神経毒作用を示すことが知られている。その構造は非常に複雑であり、収束的な合成を前提とする場合、置換シクロブタン構造を含むインドール誘導体の左ユニットと高度に官能基化されたジテルペン誘導体の右ユニットに分けることができる。我々はすでに多置換シクロブタン構造の簡便かつ実践的な合成法を開発しており、これを利用し B-C 環核間位に水酸基をもつ penitrem A および E の合成を検討することとした。

【方法・結果】 *p*-Bromobenzaldehyde (1) から数行程を経てテトラロン誘導体 2 を合成し、 Tf_2NH を触媒として(2+2)-環化付加を行い、左ユニット前駆体 3 を合成した。

